



地域の中で、共に学び、共に育つための

# 障害理解授業

本校では、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様なあり方を認め、共に助け合う共生社会の実現に向けて、地域における障害者理解の取組を進め、共に学び合い、生きる素地をつくることを目的とした障害理解授業を推進しています。

実施に当たっては、他の特別支援学校と連携・協力し、小学1年生から6年生までの6年間で様々な障害の種類や特性などを体験を通して学び、障害に関する理解と認識を深め、具体的なかかわり方や互いの違いを認め合い、思いやりの心を育むことができるようなメニューに基づいて行っています。実際の交流活動とセットでの実施はさらに効果的です。PTA、みんなの登校日などでの実施や小学生、中学生だけでなく、高校生、一般等にも対応しています。

## 1年 「いろいろな人がいるよ」

みどり学園の紹介、特性とかかわり方、体験活動、友達を作るポイント

<担当：天王みどり学園>

## 2年 「誰のための工夫かな？」

身近な工夫、体験活動、友達を増やすポイント

<担当：天王みどり学園>

## 3年 「耳の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：聴覚支援学校>

6年間、計6回の授業で様々な障害の種類やかかわり方、思いやりなどを学ぶことができます

## 4年 「目の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：視覚支援学校>

## 5年 「手足や身体の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：秋田きり支援学校>

## 6年 「見えない困り感のある人を理解しよう」

感じ方の違い、疑似体験、「きこう」の合い言葉

<担当：天王みどり学園>

## 小1～6年まで体験した児童の感想の抜粋

- この6年間を通して障害の人に対して「かわいそう」と思っていたのが「がんばれ」に変わりました。
- この6年間で考えが変わった。障害も個性の一つ、悪いことばかりじゃないと思う。
- 障害がある人への工夫が増えて不安がなく暮らせるようになってほしい。



天王

〇〇小学校1年生

「いろいろな人がいるよ」  
～ ? をもとう ～

1 天王みどり学園のしょうがい  
2 みんなで たいけんしよう!  
3 ともだちをつくるポイント



秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭：高橋 省子 地域支援部 遠藤 美和子

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

E-mail: midori-s@akita-pref.ed.jp

